

5月 2日～6日 **ゴールデンウィーク 国見が‘芸術のまち’に**

地元の芸術家・工芸家で作る「国見アートの会」主催による「第11回国見町工房ギャラリーめぐり」が開催されました。県内外から33人の作家が参加し、国見町伊美のギャラリー通りを中心に、20会場で様々な作品が展示されていました。

今年は、ワークショップが充実しており、ギャラリーめぐりに来ていた“さ吉くん”をはじめ、たくさんの方が体験をしていました。



5月 16日 **全国最高賞を讃える 句碑完成**



第50回現代俳句全国大会で最高賞を受賞した河野輝明さん（国東町鶴川）を讃える句碑の除幕式が、市役所前の駐車場で行われました。受賞作「雑煮食うも骨ひろうも箸の国」が刻まれた句碑の完成を、出席した約70名が祝いました。句碑は、河野さんの教員時代の教え子や俳句の弟子ら370人の浄財によって建てられました。



5月 10日 **100人を超える 大行列**

武蔵町でお稚児行列が行われ、60人の子どもたちが参加しました。

お稚児行列は、武蔵町仏教会が5年に1度行っていますが、今年は武蔵町今市にある教善寺の門徒会館の落慶法要に合わせて、1年繰り上げて開催しました。

子どもたちは、しっかりと最後まで歩ききりました。



5月 2日 **77人の赤ちゃん 大集合**

弥生のムラで端午の節句イベント「弥生のムラから初誕生」が開催されました。

好天に恵まれた会場には、満1歳を迎える赤ちゃんの健やかな成長を願って、約500の方が訪れました。初誕生のイベントでは、「餅ふみ・餅かるい」、「物えらび」、「泣き相撲」が行われました。泣き相撲では、初登場の鬼が、赤ちゃんが泣くのをお手伝い。会場は赤ちゃんたちの泣き声と保護者の笑い声で和やかな雰囲気になっていました。



4月 26日 **親しまれる 病院を目指して**



国東市民病院で、病院祭が開催されました。「住み慣れた故郷で最後を迎える」をメインテーマに、市民公開シンポジウムをはじめ、地元小中学生によるダンスや演奏の発表がありました。病院スタッフによる無料健康相談や手術室の一般公開も行われ、多くの来場者でにぎわいました。



4月 26日 **チャリティー ドッグフェスタ**

「くにさきチャリティー犬フェスタ2015」が国東町小原の黒津崎お祭り広場で開催されました。晴天にも恵まれ、会場には約1,000人の愛犬家が集まりました。

市内外から犬に関連するお店が多数出店し、ディスクラッグや災害救助犬の実演なども行われ、愛犬家同士の交流を深める良い機会となりました。

